

# 2009 年 IEEE 東京支部 総会資料

2009 年 4 月 13 日  
IEEE 東京支部  
<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

## 2009 年 IEEE 東京支部総会

### 総 会

日 時： 2009 年 4 月 13 日（月） 14 時 00 分～14 時 30 分

場 所： 東京都千代田区麹町 5-1  
弘済会館 4 階 蘭

議 題：

第 1 号議案：2009 年 - 2010 年役員選出の件【決議事項】

第 2 号議案：2008 年活動報告の件 【以下、報告事項】

第 3 号議案：2008 年会計報告の件

第 4 号議案：2009 年活動計画の件

第 5 号議案：2009 年予算の件

### 講 演 会

日 時： 2009 年 4 月 13 日(月) 14 時 30 分～15 時 30 分

場 所： 同 上

講演者： 浅井 彰二郎氏（株式会社リガク 取締役副社長）

演 題： 「『中央研究所の時代の終焉』？その後には何が来ているのか」

### 新Fellow表彰式

日 時： 2009 年 4 月 13 日(月) 15 時 40 分～17 時 00 分

場 所： 同 上

### 懇 親 会

日 時： 2009 年 4 月 13 日（月）17 時 00 分～19 時 00 分

場 所： 弘済会館 4 階 菊（西）

## 2009/2010年 IEEE 東京支部役員・理事

### 1. 役員

Chair	支部長	今井 秀樹	(中央大学)
Vice Chair	副支部長	川上 潤三	(日立)
Secretary	セクレタリ	花輪 誠	(日立)
Treasurer	トレジャラ	河野 隆二	(横浜国立大学)

### 2. 理事会メンバー

今井 秀樹	(中央大学)	末松 憲治	(三菱電機)
川上 潤三	(日立)	山中 直明	(慶應義塾大学)
花輪 誠	(日立)	田中 一弘	(富士通研)
河野 隆二	(横浜国立大学)	南 隆敏	(富士通研)
宮本 恭幸	(東京工業大学)	西原 明法	(東京工業大学)
井上 宏明	(日本オブネクト)	青木 利晴	(NTT データ)
田中 秀郎	(ビスキャス)	菅原 勉	(東芝)
黒澤 馨	(茨城大学)	橋本 秀紀	(東京大学)

### 3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	宮本 恭幸 (東京工業大学)	須原 理彦 (首都大学東京)	金澤 徹 (東京工業大学)
Fellow Nominations	井上 宏明 (日本オブネクト)	小山 二三夫 (東京工業大学)	佐川 みすず (日立)
Membership Development	田中 秀郎 (ビスキャス)	大崎 博之 (東京大学)	平澤 隆行 (ビスキャス)
Nominations	黒澤 馨 (茨城大学)	荒井 滋久 (東京工業大学)	松本 隆太郎 (東京工業大学)
Technical Program	末松 憲治 (三菱電機)	高村 誠之 (NTT)	檜枝 護重 (三菱電機)
Publications	川上 潤三 (日立)	花輪 誠 (日立)	福田 宏 (日立)
Student Activities	山中 直明 (慶応大学)	伊丹 誠 (東京理科大学)	大野 光平 (東京理科大学)

なお、上記で「川上 潤三(日立)」と記載の箇所(3ヶ所)は、以下の内容を略記したものです。  
「(2009年2月8日まで) 武田 英次(元日立)、(2009年2月9日から) 川上 潤三(日立)」

## 2008年 IEEE 東京支部活動報告

### 1. 支部総会

2008年3月17日(月)、午後2時から青学会館4階 クリノンにおいて開催された。総会に引き続き、2008年新 Fellow の表彰式が行われた。

### 2. 支部理事会

第1回 3月17日(月) 青学会館 出席者 13名

- ・ 2007年第4回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2007年決算報告及び監査報告(報告)
- ・ 2008年予算案(報告)
- ・ 支部推薦2009年Fellow候補者
- ・ 2008年総会資料(審議)
- ・ Region 10 Meeting(報告)

第2回 6月23日(月) 東芝本社 出席者 13名

- ・ 2008年第1回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2009/2010年役員・理事の選出について(審議)
- ・ 2008年FNC活動計画(報告)
- ・ 2008年SAC活動計画(報告)
- ・ 第1回Japan Council 理事会議事録(報告)
- ・ 2007年東京支部リポート(報告)
- ・ TOKYO GOLD設立について(提案)

第3回 10月6日(月) 東芝本社 出席者 13名

- ・ 2008年第2回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2008年8月末会計報告(報告)
- ・ 2008年度SAC活動計画(報告)
- ・ 2008年度FNC活動計画(報告)
- ・ 日本語ワードプロセッサのMilestone認定決定と贈呈式について
- ・ 2008年Section Congress(報告)
- ・ Award Committeeについて
- ・ IEEE125周年記念について
- ・ 2009/2010役員選挙 状況と今後の予定について

(総会 - 第2号議案 資料)

第4回 12月8日(月)青学会館

出席者 24名

- ・ 2008年第3回理事会議事録の確認(審議)
- ・ 2009/2010年支部役員・理事・委員会メンバー(審議)
- ・ 2009/2010年Japan Council 東京支部代表理事案(審議)
- ・ 2008年活動報告および2009年活動計画案(審議)
- ・ 2008年決算予想および2009年予算案(審議)
- ・ 2008年度FNC活動報告
- ・ 2008年度SAC活動報告
- ・ 東芝日本語ワープロ Milestone 贈呈式(報告)
- ・ IEEE Region10 Meeting 招致について(審議)
- ・ 次期理事会への引継ぎ事項(報告)
- ・ TOKYO GOLD 活動計画案(審議)
- ・ IEEE 設立125周年記念セレモニーについて

### 3. 支部主催講演会

(1) 3月17日(月)青学会館 4F 「クリノン」

参加者 44名

『脳とロボット』

川人 光男氏(ATR 脳情報研究所 所長)

(2) 5月19日(月)アルカディア市ヶ谷(私学会館)

参加者 47名

『Activities of the IEEE History Center and Milestones』

Dr. Michael Geselowitz (IEEE History Center 所長)

(3) 7月24日(木)TKP 御茶ノ水ビジネスセンター

参加者 45名

Robotics -ロボティクスへの誘い-シリーズ

『第1回講演会 ロボティクス研究の魅力』

小菅 一弘先生(東北大)

大西 公平先生(慶応大学)

(4) 8月6日(水)アイビーホール青学会館

参加者 33名

Robotics -ロボティクスへの誘い-シリーズ

『第2回講演会 ロボティクスとデザイン』

松井 龍哉氏(フラワー・ロボティクス株式会社)

(5) 10月1日(水)青山テピア

参加者 70名

Robotics -ロボティクスへの誘い-シリーズ

『第3回講演会 ポスト・コンピュータ時代におけるロボット産業の位置づけと未来への可能性』

原 丈人氏 DEFTA PARTNERS(デフタ・パートナーズ)グループ会長

(総会 - 第2号議案 資料)

(6) 10月10日(金) アイビーホール青学会館 参加者 59名  
『～ Innovate Now or Pay Later ～』  
Gerard H. (Gus) Gaynor (President IEEE Technology Management Council)

(7) 11月4日(火) ホテルオークラ東京 参加者 60名  
『History and meaning of the IEEE Milestone program: A view from the Smithsonian』  
Dr. Bernard S. Finn (スミソニアン博物館名誉キュレータ)  
『IEEE との付き合いかた(How you can be active in the IEEE)』  
原島 文雄氏 (Chair, IEEE Japan Council)

#### 4. その他の会合等

(1) 「新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー」 3月17日 青学会館 4階 クリノン  
参加者：2008年新フェロー、IEEE 役員・理事 他 計 35名

(2) 2008年 Region10 Meeting 2月2日～3日 Gandhinagar, Gujarat, India  
参加者：本部関係者、Region10 関係者、Council / Section 代表 他 計 99名  
東京支部代表出席者：花輪理事 (日本カウンスル出席者：橋本 Treasurer)  
日本からのその他の参加者：荒木、尾上、井上、古橋、澤谷、生越 (敬称略)

(3) Section Congress 2008 9月18日～21日 Quebec City, Canada  
参加者：約 1300名  
東京支部代表出席者：栄藤理事 (日本カウンスル出席者：菅原 Secretary)

(4) 東芝日本語ワードプロセッサ Milestone 贈呈式 11月4日 ホテルオークラ東京  
参加者：IEEE 関係者/招待者、東芝関係者/招待者

#### 5. 常設委員会の活動

- Fellow Nominations Committee

「2009年 IEEE フェロー候補者推薦のお願いと支部長エンドースメント発給に関するお知らせ」を電子メールにて東京支部事務局より発信した。

- Technical Program Committee

上記4.項に示す講演会を企画実行した。

- Publications Committee

会員への情報サービスとして、「IEEE Tokyo Bulletin」を発行し、東京支部の全会員にメール配信すると共に、支部のホームページに掲載した。

(総会 - 第2号議案 資料)

・ Student Activities Committee

(1) Reg.10 Student Congress (インド) への派遣の支援

(2) IEEE Tokyo Young Researchers International Meeting (東京工業大 5月23日) への支援  
東京近郊の IEEE 学生支部と香港理工大学の学生との交流会。

(3) Japan Council Student Branch Leaders Workshop への参加援助  
10月4日(土)実施、幹事校：慶應義塾大学

(4) IEEE ソウル支部との交流

IEEE Seoul 主催の学生英語発表コンテストへ学生5名と東京支部役員を派遣した。

IEEE Seoul 主催 IEEE Tokyo, IEEE JC, IEEE Beijing から参加。ベトナムからも学生を招待した。

(11月29日(土)ソウルにて実施した)

(5) The 5<sup>th</sup> IEEE Tokyo Young Researchers Workshopへの援助

12月5日(金)東京工業大学大岡山キャンパスにて実施した。

実行委員長は東京理科大学学生。

以上

## 会員の状況

### 1. 東京支部会員数

( 各年の12月末の会員数 )

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-1.92	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	0.66	2	336	459	5,731	449	653

略号 : HM: Honorary Member      F: Fellow      SM: Senior Member  
M: Member      A: Associate      St: Student

### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50							
1964	666		1	8	105	302	99	151
1969	1,106		1	18	140	642	107	198
1971	1,207	2.37	1	25	153	791	112	125
1976	2,095	9.40	-	51	182	1,557	100	205
1981	3,106	9.21	-	91	245	2,453	128	189
1986	4,573	7.63	1	153	346	3,654	241	178
1991	7,036	5.80	2	212	486	5,514	606	216
1992	7,439	5.73	2	222	522	5,832	633	228
1993	7,926	6.55	2	247	542	6,206	660	269
1994	8,345	5.29	1	267	548	6,374	714	441
1995	8,892	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
1996	9,186	3.31	2	305	577	7,000	896	406
1997	9,454	2.92	2	335	582	7,221	918	396
1998	10,010	5.88	2	360	591	7,640	913	504
1999	10,375	3.65	1	370	619	7,862	1,004	519
2000	10,867	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043
2005	12,703	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366
2007	13,133	3.39	4	505	754	9,749	757	1,364
2008	13,346	2.98	4	513	761	9,804	723	1,541

注 : Affiliate会員は含まない。



## 東京支部 2008年会計報告

単位：日本円

	予算 (1/1～12/31)	決算 (1/1～12/31)	対予算 (%)	備考
<b>収入の部</b>				
《東京支部》				
◆IEEE 本部勘定	18,025,000	18,490,151	103	予算は US\$1=¥103を適用
・支部リポート	2,884,000	3,171,705	110	US\$29,731.20@¥106.75=3,173,805 (2008/6/19)
・Section Assessment	15,141,000	15,318,446	101	前期：US\$145,180.00@¥103.14 後期：US\$3,580.00@¥96.95
・その他	-	-	-	
◆その他	-	107,808	-	東芝マイルストーン銘板立替分
◆雑収入	40,000	55,387	138	受取利息
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
<b>収入合計</b>	18,065,000	18,653,346	103	
<b>支出の部</b>				
《東京支部》				
◆Councilへの拠出金	15,141,000	15,318,446	101	前期：US\$145,180.00@¥103.14 後期：US\$3,580.00@¥96.95
◆会合費	1,600,000	1,609,731	101	
・総会費	700,000	715,950	102	総会資料印刷代/懇親会費を含む
・講演会費	500,000	592,774	119	会場費
・理事会費	100,000	200,430	200	交通費/通信費/懇親会費を含む
・その他会合費	300,000	100,577	34	本部VIP来日対応/次期幹事会社懇親会を含む
◆Committee活動費	300,000	-	0	
◆Student Branch支援費	1,000,000	1,099,801	110	東工大特別セミナー/Tokyo Young Reserchers Workshop/Student Branch Workshop旅費
◆事務局設備費	300,000	-	0	
◆ITサービス運用費	1,000,000	1,036,770	104	ハウジング費用/常駐保守
◆通信費	40,000	23,133	58	Internet通信費等
◆支払手数料等	350,000	277,512	79	前年度監査費用、銀行手数料等
◆予備費	500,000	529,033	106	マイルストーン贈呈式写真焼増等/ Section Congress旅費を含む
<b>支出合計</b>	20,231,000	19,894,426	98	
<b>収支</b>	-2,166,000	-1,241,080	57	
◆前年度繰越金	10,970,861	10,970,861	100	
◆次期繰越金	8,804,861	9,729,781	111	

## 財産目録

科 目	2008年12月31日	2007年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金	20,000	20,000
普通預金	9,709,781	10,950,861
定期預金	16,698,001	16,698,001
現金・預金合計	26,427,782	27,668,862
その他流動資産	136,560	0
流動資産合計:	26,564,342	27,668,862
2. 固定資産		
電話加入権	145,600	145,600
機器および備品	3,853,815	3,853,815
減価償却累計額	(3,775,450)	(3,681,412)
固定資産合計:	223,965	318,003
資産合計:	26,788,307	27,986,865
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債	163,872	0
2. 固定負債	0	0
負債合計:	0	0
3. 正味財産	26,788,307	27,986,865
負債および正味財産合計:	26,788,307	27,986,865
<b>Statement of Activities</b>		
I. 収益の部		
支部レポート	3,171,705	3,567,754
Section Assessment	15,318,446	15,830,219
その他(東芝マイルストーン銘板代立替分)	107,808	-
受取利息	55,387	45,213
信越支部設立資金		
Section Congress支援費	136,560	
雑収入		
収益合計:	18,789,906	19,443,186
II. 費用の部		
会合費	1,609,731	941,499
Publication Expenses		
Student Branch支援費	1,099,801	842,550
Japan Councilへの拠出金	15,318,446	15,830,219
事務局費および一般管理費	1,337,415	1,320,867
予備費(マイルストーン/Section Congress)	529,033	
Milestone Plaque費用	163,872	
信越質設立基金		726,261
減価償却費	94,038	94,038
費用合計:	20,152,336	19,755,434
正味財産増減額	(1,362,430)	(312,248)
期首正味財産	27,986,865	28,299,113
期末正味財産	26,624,435	27,986,865
<b>Statement of Cash Flows</b>		
I. 収入の部		
支部レポート	3,171,705	3,567,754
Section Assessment	15,318,446	15,830,219
予備費(マイルストーン/Section Congress)	107,808	-
受取利息	55,387	45,213
信越支部設立資金		
雑収入		
収入合計:	18,653,346	19,443,186
II. 支出の部		
会合費	1,609,731	941,499
Publication Expenses	0	
Student Branch支援費	1,099,801	842,550
Japan Councilへの拠出金	15,318,446	15,830,219
事務局費および一般管理費	1,337,415	1,320,867
設備備品		
信越支部設立資金		726,261
予備費(マイルストーン/Section Congress)	529,033	
固定資産等購入		
支出合計:	19,894,426	19,661,396
現金・預金増減額	(1,241,080)	(218,210)
期首現金・預金残高	27,668,862	27,887,072
期末現金・預金残高	26,427,782	27,668,862

## Japan Council 2008年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1~12/31)	決 算 (1/1~12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	1,000,645	1,228,913	123	
・ Chapter Rebate	1,000,645	1,103,469	110	US\$10,369.00@¥106.42
・ R10からの受取金		95,355	-	SBLW カウンセラー会議サポート
・ Society からの受取金		30,089	-	Chapterに代わって換金
◆各支部よりの拠出金	24,926,000	26,088,330	105	US\$253,409.85平均@¥101.88
・ 札幌支部		426,349		前期分US\$4,148.24 @¥103.14(手数料¥1500 ) (後期分： 次年度の前期に請求。)
・ 仙台支部		1,155,230		前期分： US\$11,230.00 @¥102.87 後期分： US\$280.00 @¥97.59 手数料1500
・ 信越支部		443,802		前期分： US\$4,327.15 @¥103.14 手数料2500 (後期分： 次年度の前期に請求。)
・ 東京支部		14,973,865		前期分： US\$145,180.00 @¥103.14 後期分： US\$3,580.00 @¥96.95 手数料2500
・ 名古屋支部		2,147,408		前期分： US\$20,834.37 @¥103.14 手数料1500 (後期分： 次年度の前期に請求。)
・ 関西支部		3,943,042		前期分： US\$38,230.00 @¥103.14 後期分： US\$1,167.50 @¥100.95 手数料2500
・ 広島支部		858,494		前期分： US\$8,345.43 @¥102.87 (後期分： 次年度の前期に請求。)
・ 四国支部		396,275		前期分： US\$3,856.66 @¥102.75 (後期分： 次年度の前期に請求。)
・ 福岡支部		1,258,100		前期分： US\$12,230.00 @¥102.87 (後期分： 次年度の前期に請求。)
◆雑収入	30,000	43,882	146	受取利息等
合 計	25,956,645	27,361,125	105	
支出の部				
◆事務局費	13,450,000	12,868,004	96	
・ 給料諸給	4,000,000	4,683,942	117	交通費/労働保険/所得税を含む
・ 臨時雇費	-	-	-	
・ 事務所賃借料	2,200,000	2,043,218	93	
・ 事務所設備費用	400,000	168,490	42	IT環境整備費など
・ 通信費	300,000	179,739	60	電話回線使用料、切手など
・ 交通費	100,000	9,440	9	
・ 事務用品費	150,000	103,028	69	
・ 事務機器レンタル費	1,000,000	701,998	70	コピー機・ファックス機/コピー機使用料等
・ 支払手数料等	5,300,000	4,978,149	94	銀行手数料/会計監査費用/派遣社員費用など
◆会合費	3,500,000	2,470,486	71	
・ 理事会・各委員会費	2,500,000	2,470,486	99	参加旅費を含む、関西支部との交流費
・ その他会合費	1,000,000	-	-	
◆Section支援費	2,500,000	3,377,758	135	仙台、信越、広島、四国、福岡、名古屋、関西各支部
◆Chapter支援費	7,500,645	7,405,655	99	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	2,000,000	2,354,889	118	SAC Workshop開催費用・参加旅費等
◆WIE支援費	750,000	279,307	37	
◆予備費	500,000	0	-	
合 計	30,200,645	28,756,099	95	
収支	-4,244,000	-1,394,974	-	
◆前年度繰越金	24,616,181	24,616,181	100	
◆次年度繰越金	20,372,181	23,221,207	114	

## 2009 年 活動計画

### 1. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

### 2. ボストン支部、ソウル支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年のソウルでの学生英語論文コンテストに引き続き、交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画中である。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

### 3. 委員会活動

#### 3-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学の 7 校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学があり(全国合計 20 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやブランチ活動への経済的支援などを通じたブランチ活動の活性化に協力するとともに、ブランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、学生英語論文コンテストやブランチ間交流等を推進する。

#### 3-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、Membership Development Committee の活動を活性化させ、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増強を図る。また、高グレード会員(Fellow + Senior Member)の比率が、全体平均より低水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。

#### 3-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力をを行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2008 年と同様にフェローノミネーション連絡表、ノミネーション作成

のための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

#### 3-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえようように広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

#### 3-5. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin(日本語、英語)を充実させ、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。インターネットサービスの拡充を図るため、2005 年より運用を始めた事務局独自サーバを活用し、会員への情報サービスの向上を図る。

#### 3-6. 若手会員向け活動の活性化

2008 年 11 月に設置された Tokyo GOLD Affinity Group を中心に、学部卒業後 10 年間の GOLD (Graduate of Last Decade) Member 向けの活動を活性化させる。

#### 4. 本部との連携強化

本部役員の訪日があれば、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。  
また、2009 年は IEEE 設立 125 周年にあたることから、記念事業を開催する。

以上



# Tokyo GOLD Affinity Group (Graduate of the Last Decade)

2008 年 11 月設立

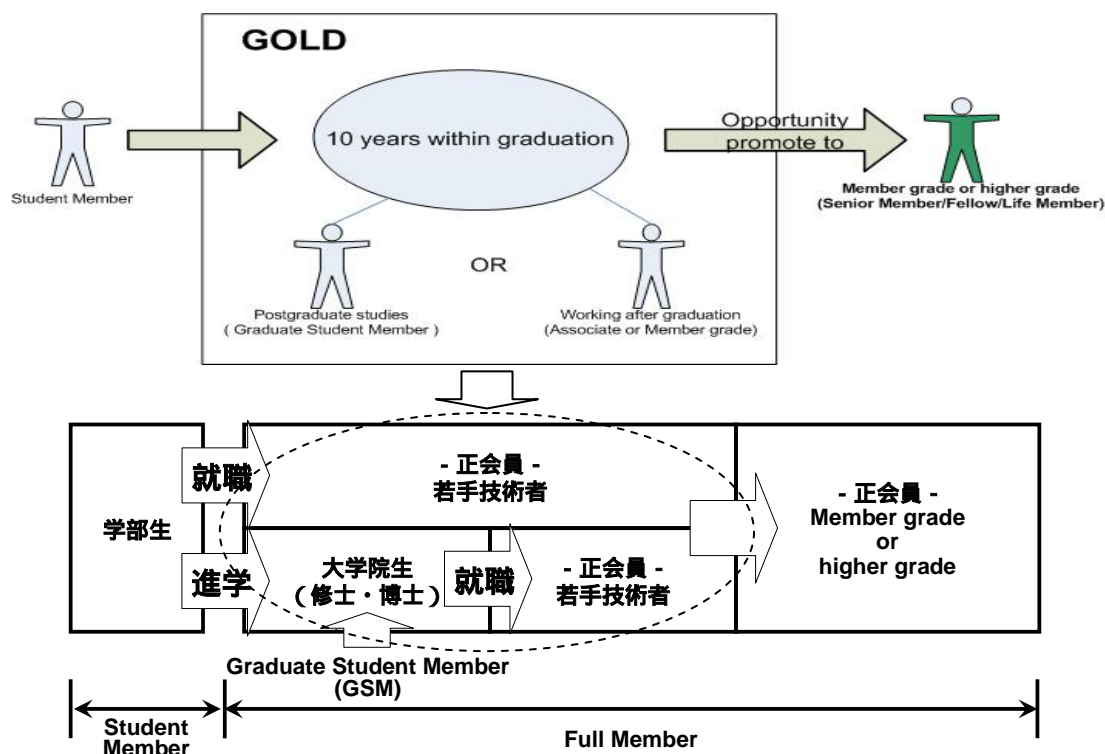
## Tokyo GOLD ExCom 2009:

Chair : 大越康晴 (東京電機大学)      Vice Chair : 大野光平 (東京理科大学)  
 Secretary : Alex Fung (慶応大学 博士 2 年)    Treasurer : 菊田洸 (慶応大学 博士 1 年)  
 Liaison to JC WIE : 橋本隆子 (千葉商科大学), 矢野絵美 (リコーソフトウェア株式会社)

## Vision:

「在学中のスキルアップ」あるいは、「技術者としてのスキルアップ」という観点から、国内外の Section や Region レベルで行なわれている IEEE 活動について理解を深め、GOLD, SAC, WIE などを通じてネットワークを形成する。

- ◇ IEEE GOLD 活動を通じて社会人としてのスキルアップに役立つ活動
  - Section レベルでの若手会員のネットワーク形成
  - まだ日本国内では認知度の低い日本国内での GOLD 活動の普及
  - IEEE JC WIE との連携活動 (Affinity Group の普及活動)
  - R10 GOLD Congress や GOLD Summit のような Region レベルでの活動に参加
- ◇ 学生会員から正会員への架け橋の役割 (将来の IEEE リーダのための活動)
  - 大学院生 (学部卒業後から 10 年以内) を対象とした GOLD 活動の勧誘
  - Student Branch のない大学の大学院生も参加できる活動を通じて、GOLD と同時に SAC 活動の普及



## IEEE東京支部2009年予算

単位：日本円

	2009年予算 (1/1～ 12/31)	備考
<b>収入の部</b>		
◆IEEE 本部勘定	16,284,000	US\$1=¥97を適用(2008年11月25日現在) 予算は-5円の92円で計算
・支部リベート	2,668,000	US\$29000 (Gross) を想定
・Section Assessment	13,616,000	US\$148,000 (Gross) を想定
◆雑収入	40,000	受取利息等
収入合計	16,324,000	
<b>支出の部</b>		
◆Councilへの拠出金	13,616,000	Section Assessment全額
◆会合費	1,600,000	
・総会費	700,000	資料印刷代/証書額/懇親会費を含む
・講演会費	500,000	会場費、謝礼金を含む
・理事会費	100,000	
・その他会合費	300,000	
◆Committee活動費	300,000	Tokyo Bulletin発行/HP制作費/MDC活動費
◆Student Branch支援費	1,000,000	
◆事務局設備費	300,000	ファシリティの新規購入、ソフト更新費用など
◆ITサービス運用費	1,000,000	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆通信費	40,000	Internet通信費/宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	350,000	前年度監査費用、銀行手数料等
支出合計	18,206,000	
収支	-1,882,000	
◆前年度繰越金	9,729,781	
◆次期繰越金	7,847,781	

**2009年新Fellows Citation**

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	福岡 義孝 Yoshitaka Fukuoka	有限会社 ウェイスティー	<i>for development of multichip module and high density substrate technologies</i>
2	東京	古屋 一仁 Kazuhiro Furuya	東京工業大学	<i>for contributions to optical fibers, semiconductor lasers and electron wave devices</i>
3	東京	笠原 順三 Junzo Kasahara	静岡大学	<i>for contributions to submarine seismic technology</i>
4	東京	佐藤 正之 Masayuki Sato	群馬大学	<i>for development of high voltage pulsed plasma in water</i>
5	東京	関原 謙介 Kensuke Sekihara	首都大学東京	<i>for contributions to electromagnetic brain imaging</i>
6	東京	種市 健 Takeshi Taneichi	東京電力(株)	<i>for leadership in developing and applying advanced power generation and transmission technology</i>
7	東京	宇佐美 光雄 Mitsuo Usami	日立製作所	<i>for contributions to radio-frequency identification technology</i>
8	東京	山本 俊昭 Toshiaki Yamamoto	東京都市大学	<i>for contributions to pollution and contamination control</i>
9	東京	横山 隆一 Ryuichi Yokoyama	早稲田大学	<i>for leadership in electrical power system management</i>



## 他支部所属新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	福岡	山川 烈 Yamakawa, Takeshi	九州工業大学	for contributions in hardware implementation of fuzzy logic and other soft computing systems
2	関西	門田 道雄 Kadota, Michio	村田製作所	for contributions to surface acoustic wave devices
3	関西	田村 進一 Tamura, Shinichi	大阪大学	for contributions to pattern recognition and image analysis
4	名古屋	川人 祥二 Kawahito, Shoji	静岡大学	for contributions to sensor interfacing, sensor signal processing and multiple-level signaling
5	名古屋	水谷 孝 Mizutani, Takashi	名古屋大学	for contributions to device physics, nanostructures and heterostructure devices
6	仙台	田所 諭 Tadokoro, Satoshi	東北大学	for leadership in the development and deployment of rescue robotics

## 2009年 IEEE Medal/Award 日本人受賞者

No.	Award	氏名/所属	Citation
1	IEEE David Sarnoff Award	荒川 泰彦 (東京大学)	For seminal contributions to improved dynamics of quantum well semiconductor lasers.
2	IEEE Frederik Philips Award	浅井 彰二郎 (株式会社リガク)	For leadership in research and development in electron device technologies and their applications.
3	IEEE William E. Newell Power Electronics Award	深尾 正	For contributions to the development of cycloconverters and bearingless drives.

## **The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

### **Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

### **Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Promotion
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.

3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

**Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

**Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

**Article VII - Finances**

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.

3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

**Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $\frac{2}{3}$ ) majority vote of the Section Executive Committee.
3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-----

- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 15 December 2006.

## 事務局連絡先

〒105-0003 東京都港区西新橋 3 丁目 6 番 2 号 西新橋企画ビル 8 階

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)